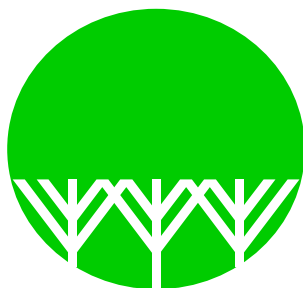


令和8年度版



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局

石狩森林管理署の紹介



カルデラ展望所（赤井川村冷水峠）から望む赤井川村のカルデラ風景

管理経営の基本は公益的機能の増進です

石狩森林管理署では、石狩川流域にひろがる約21万haの国有林を管理経営しています。この国有林の中には、札幌市をはじめ管内市町村の水源林や、藻岩・円山原始林などの貴重な自然環境、「昭和の森野幌自然休養林」や「支笏湖スポーツ林」等のレクリエーションエリアがあり、森林の持つ公益的機能の発揮が期待される地域です。

石狩森林管理署管内図



機能類型にふさわしい 森林の取扱いを進めています

森林に対する国民の要請は、山地災害の防止や水源の涵養に加え、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、多様化してきています。石狩空知森林計画区の「地域管理経営計画」（令和4年度末策定）では、こうした国民の要請と期待を踏まえ、重点的に発揮させるべき機能により国有林野を以下の四つの機能類型に区分し持続可能な管理経営に取り組んでいくこととしています。

山地災害防止タイプ（2エリアに細分） 32,672ha（15%）

土砂流出・崩壊防備エリア

土砂の流出や崩壊等の山地災害を防ぎ、災害に強い国土基盤の形成を目的として施業を行うとともに、必要に応じ治山施設を整備

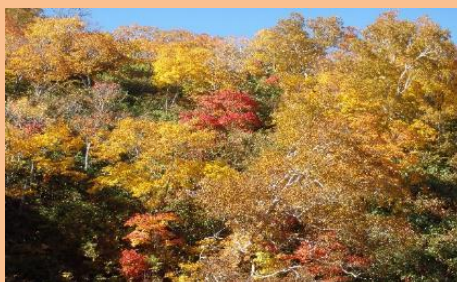
気象害防止エリア

風害等の気象害を防ぐことを目的として、遮蔽能力が高く諸害に対する抵抗力が強い森林の育成に配慮した管理経営を実施



自然維持タイプ 40,796ha（19%）

原生的な森林生態系や、希少な動植物の生息・生育する森林など、自然環境や生物多様性の保全を図るため、原則として自然の推移に委ねることとし、野生動植物の生息・生育環境の保全等に配慮した管理経営を実施



森林空間利用タイプ 37,094ha（17%）

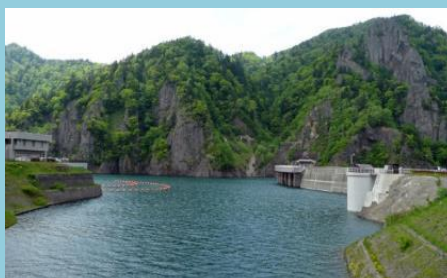
保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視し、景観の向上やレクリエーションを考慮した保育や間伐等の森林の適切な整備を行うとともに、必要に応じ遊歩道等の施設を整備

レクリエーションの森を選定し、国民の保健・文化的利用に供するための施設等を整備



水源涵養タイプ 101,838ha（48%）

良質で豊かな水の安定供給など水源涵養機能の発揮のため、濁水や洪水の緩和、水質の保全等を目的として、浸透・保水能力の高い土壌の維持や下層植生等の良好な発達が確立されるよう適切な森林整備を実施するとともに、間伐などを通じ、地域の経済活動に資する木材生産との両立を図る



森林の公益的機能の維持増進のために さまざまな取組を進めています

水源の森の保全

豊平川上流域の森林は、全道の約4割の人口を抱える札幌市の都市近郊林として、様々な水需要に応えるための良質な水源を担っているとともに、多くの市民が利用する憩いの森林としての役割を果たしています。水源涵養機能の維持・増進、地域の環境保全等を図るため、保育・間伐等の森林施業を適切に実施しています。

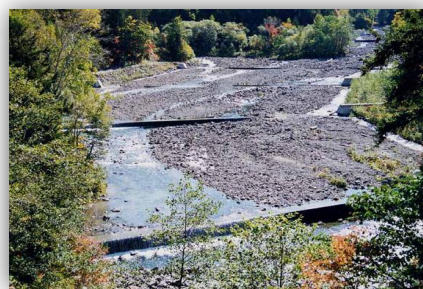


水源の森と豊平峡ダム

保安林の整備

土砂の流出・崩壊の防備、水源の涵養や防風等の機能の発揮が特に求められる森林（管内国有林の96%）を『保安林』に指定しています。

その働きが失われないよう適切な森林整備に努めるとともに、災害を防止するための『治山ダム』、崩壊地の植生を回復する『山腹工』等を施工しています。



漁入沢低ダム群

レクリエーションの森の整備

人と森林とのふれあいの場を提供するため、四季折々の自然の美しさを楽しむことができる自然休養林や野外スポーツ地域などのレクリエーションの森を設定し、森林とのふれあい環境を整備しています。石狩森林管理署には17カ所、29,803haのレクリエーションの森があり、皆さんに親しまれています。



野幌自然休養林

保護林の指定

原生的な天然林を保存することにより、自然環境の維持や野生動植物の保護、遺伝資源の保護等に資することを目的として、漁岳周辺森林生態系保護地域等の14ヶ所の保護林(4,285ha)を設定しています。また、森林に生息する動植物の生態系の保護・保全を図るため、漁岳から無意根山までの区域に、保護林を連結する『支笏・無意根緑の回廊』（3,619ha）を設定しています。



定山溪ダケカンバ遺伝資源希少個体群保護林

エゾシカ対策の推進

エゾシカによる森林被害及び農業被害の軽減や交通事故等防止を目的として、エゾシカ被害の実態把握のための調査を行っています。また、エゾシカの個体数管理の一環で、北海道国有林における「エゾシカ一斉捕獲推進期間」には、関係市町村及び地元猟友会との連携捕獲を実施するとともに、平成26年度からはモバイルカリング捕獲事業、平成29年度からは小型囲いわなによる捕獲事業、令和4年度からは大型囲いわなによる捕獲事業を行っており、一定の成果を得ています。



大型囲いわなで捕獲されたエゾシカ
(千歳国有林)

『国民の森林』にふさわしい 開かれた管理経営を目指します

計 画

地域管理経営計画などの計画の策定に当たっては、地域での意見交換などの機会を通じて広く国民からご意見を聴くよう努めるとともに、また、とりまとめた計画（案）については、公告・縦覧等により国民の皆さんや市町村など関係行政機関のご意見を予めお伺いし、反映するよう努めています。

森林・林業の普及・啓発活動

森林づくり活動へのフィールドの提供



『カルデラの森』森林環境保全整備活動の集合写真

国有林内における森林づくり活動などへの国民の参加を推進するため、「遊々の森」、「ふれあいの森」、「社会貢献の森」、「法人の森」等の制度によりフィールドを提供しています。また、小・中学校などからの要請に応じ、森林教室・体験学習の森林インストラクターを派遣しています。

一例を挙げると、赤井川村のカルデラ展望所周辺の本木が成長したことにより見晴らしが悪くなったことを受け、村民による森林整備（笹刈り払い、枝打ち等）が平成29年より継続して行われており、眺望が復活しています。

支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり



コンサ百年の森づくり箇所小学生による植樹活動

平成16年9月の台風18号は、道内各地に大きな被害を与え、支笏湖周辺の国有林も甚大な風倒木被害を受けました。市民・企業・行政による『協働の森づくり』の取組としてセブン・イレブンみどりの基金と『国有林における森林整備等の活動に関する協定』を締結し、3年間で100haの大地に10万本の植樹を達成しました。

また、平成20年より北海道コンサドーレサッポロと「社会貢献の森」の協定を締結し、小学生による植樹等が継続的に行われています。

平成30年9月 台風21号被害木処理



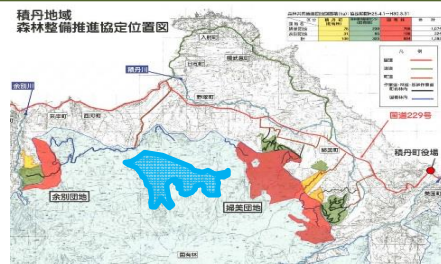
平成30年9月の台風21号は、道内各地に大きな被害を与え、特に野幌国有林・北広島国有林は大きな被害を受けました。令和元年度及び2年度には積雪期に被害木処理を行い、令和3年度にボランティア等により植樹をしています。

民有林と国有林が一体となって 効率的な森林経営を推進します

共同施業団地の効率的活用の推進

1. 積丹地域森林整備推進協定

森林作業道等の開設や間伐等の森林整備を効率的に実施するため、積丹町・国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林整備センター北海道水源林整備事務所・当署の三者により締結した「積丹地域森林整備推進協定」（平成20年1月～）を令和5年3月に更新し、今後5年間はこれまでの取組を継続するほか、令和6年に第2ストックヤードを整備しました。



協定締結調印式にて

2. 石狩市森林整備推進協定

森林作業道等の開設や間伐等の森林整備を効率的に実施するため、石狩市・石狩市森林組合・当署の三者により締結した「石狩市森林整備推進協定」（平成26年9月～）を令和5年3月に更新し、今後5年間はこれまでの取組を継続するほか、新たなストックヤードの設置を検討します。



共同施業団地図



第3期目協定締結調印式にて

3. 赤井川地域森林整備推進協定

赤井川村及び石狩森林管理署は、連携・協力して効率的な森林施業等を行うため、令和6年1月に「赤井川地域森林整備推進協定」を締結しました。民有林と国有林が連携して森林整備を進めるとともに民有林材の販路に国有林材の販路も活用できるよう民国共用の共同土場（ストックヤード）を令和8年度に設置し木材の協調出荷を行うことにより、ひいては民有林の森林整備を推進しやすい環境づくりや民有林材の安定供給につなげたいと考えています。

また、森林資源の循環利用に資することや村民等の森林づくりへの参加にも取り組んでいます。



第1期目協定締結調印式にて

流域を単位に、民有林行政と 連携した取組を進めています

流域管理の推進

地域における適切な森林整備の実施や林業・木材産業の活性化を図るため、流域を単位として、民有林と国有林で協調した取組を推進することが重要です。

このため、民有林行政を担当する道や市町村等と連携して、流域の課題やニーズを的確に把握するとともに、民有林と国有林との共同施業団地の設定、低コスト・高効率作業システムの現地検討会の開催等の取組を行っています。

■ 市町村別土地面積及び森林面積

単位 面積：ha

区分	区域面積 (A)	森林面積			森林比率 B/A	国有林比率 C/A
		総数 (B)	国有林 (C)	民有林		
総数	479,912	308,180	218,461	89,719	64%	46%
札幌市	112,126	71,365	56,187	15,178	64%	50%
小樽市	24,383	16,067	6,634	9,432	66%	27%
江別市	18,738	2,003	1,544	459	11%	8%
千歳市	59,450	31,845	27,974	3,871	54%	47%
恵庭市	29,465	18,807	18,232	575	64%	62%
北広島市	11,905	4,327	644	3,683	36%	5%
石狩市	72,242	53,321	41,191	12,131	74%	57%
当別町	42,286	26,616	2,571	24,046	63%	6%
新篠津村	7,804	197	37	160	3%	0.5%
積丹町	23,813	19,754	15,076	4,679	83%	63%
古平町	18,836	17,103	14,088	3,014	91%	75%
仁木町	16,796	12,827	8,938	3,889	76%	53%
余市町	14,059	9,359	6,116	3,242	67%	44%
赤井川村	28,009	24,589	19,229	5,360	88%	69%

注1) 区域面積は「第129回(令和4年)北海道統計書」、森林面積は、「令和2年度北海道林業統計書(令和4年3月)」による。なお、森林面積(国有林)は、森林管理局所管国有林及びその他国有林である。

注2) 計は四捨五入のため必ずしも一致しない。

地域林政連絡会議等による民有林行政との情報交換

森林の有する多面的機能の発揮や林業の持続的な発展のため、民有林と国有林で連携した取組を進める一環で、石狩振興局及び空知総合振興局、後志総合振興局とそれぞれ「地域林政連絡会議」を行い、また、管内14市町村とは「市町村地域林政連絡会議」を開催し、林業施策等の情報交換や現地検討会などの技術交流を積極的に行っています。



石狩空知地域林政連絡会議の様子



石狩・後志管内市町村地域林政連絡会議の様子

森林・林業の再生に向けた取組を推進します

■森林吸収源対策の推進

森林の公益的機能の維持増進だけでなく、二酸化炭素の吸収量を確保し地球温暖化を防止するためには、健全な人工林の育成が必要であり、間伐等の森林整備を引き続き推進します。

なお、吸収した二酸化炭素の固定やカーボンニュートラルの観点からも、森林整備に伴い生産した間伐材を木材として利用することが重要です。



ハーベスターによる間伐作業



■森林整備と木材の安定供給

再生可能な資源である木材を循環的に利用し持続可能な森林経営を推進するため、自然条件及び社会的条件が良い場所では伐採と植林を繰り返し、木材を安定的に供給するよう努めています。

←積丹野塚ストックヤードに集積された国有林材

■林業作業の軽労化の推進

作業従事者の負担軽減や従事者不足への対応策として、下刈の機械化に取り組んでおり、今年度も造林請負による機械下刈を発注。今後も機械による下刈発注面積を拡大し作業の負担軽減に向け取り組みます。

↓リモコン式下刈機械による作業



■森林土木工事への木材利用の推進

農林水産関係をはじめ、各種の公共工事に間伐材等の木材を積極的に利用することとしています。このため、森林管理署が行う治山工事や林道工事でも積極的に木材の利用を図っています。

←治山工事における間伐材の利用

自然豊かな国有林で

緑と友達になってください

緑のなんでもご案内

レクリエーションの森

名 称	み どころ	施 設	アクセス
昭 和 の 森 野 幌 自然休養林	札幌市近郊の平地林、開拓前の石狩地方の森林の面影を残しています。	遊歩道、休憩所	JR大森駅から
支笏湖スポーツ林	樽前山・恵庭岳等に囲まれた雄大な景観が四季折々に楽しめます。	キャンプ場・遊覧船	千歳市・苫小牧市から
札幌国際スキー場	朝里岳の東斜面に設置された大型のスキー場で、5月の連休までスキーが楽しめます。	スキー場	札幌市内及び新千歳空港からバス
キロロスキー場 (赤井川スポーツ林)	道内屈指の大型スキー場。宿泊・夏季利用施設など年間を通して楽しめる総合リゾートです。	スキー場、ホテル パークゴルフ場、温泉	札幌市内及び新千歳空港からバス

登 山

名 称	概 要
藻 岩 山	6月1日が山開きで、慈啓会コース、旭山コース、小林峠コースがあり、近年は四季を通じて登山者の多い山です。植物の種類も多く、北斜面は国の天然記念物に指定されています。
無 意 根 山	薄別コースと元山コースの2コースがあり、頂上から羊蹄山、ニセコ連峰を眺望することができます。
春 香 山	小樽市銭函、朝里峠の2コースがあります。頂上からは日本海が臨めます。
空 沼 岳	頂上近くに2つの沼があり、頂上からは、漁岳、恵庭岳などが間近に迫ります。また、中腹には山荘も整備され山麓には実験林が設定されています。
余 市 岳	札幌市最高峰です。白井右股川コース（定山渓）、キロロコース（赤井川）の2コースがあり、頂上からは日本海や暑寒別岳などが臨めます。

花や紅葉の見どころ

場 所	概 要	時期
豊平峡風景林	ダム湖、きり立った峡谷に新緑や紅葉が映えます。	10月
恵庭溪谷 (えにわ湖自然の森 自然観察教育林)	森林からかいま見る深い溪谷やいくつかの滝が美しいです。	10月

眺望ポイント

場 所	概 要
藻 岩 山 山 頂	日本新三大夜景に認定されています。札幌市街地を一望でき、夜景は特に素晴らしいです。毎年5月31日の『藻岩山の日』にイベントが開催されます。
積丹海岸風景林	日本海に臨んだ絶壁、奇岩が美しい海岸線を形づくっています。
小 樽 海 岸 自 然 探 勝 路	オタモイ海岸や赤岩があり、奇岩や絶壁、日本海を見渡すことができます。近くには小樽市立祝津水族館、ヨット等小型船舶用の港があります。

令和8年度 主要事業量

区 分		単 位	令和8年度	備 考
販売量	立木販売	m ³	45,400	
	製品販売	m ³	55,500	
造 林	更 新	ha	32	
	保 育	ha	241	
林 道	新 設	m	—	
治 山 事 業		百万円	673.0	災害復旧等事業含む

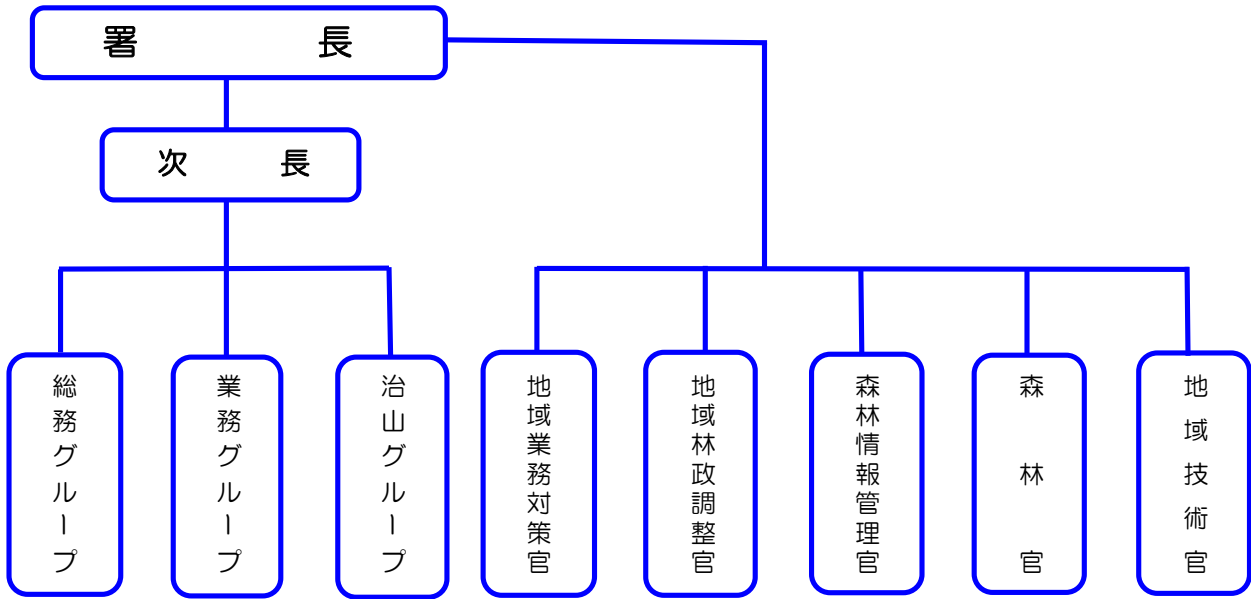
注1：事業量は、翌債・明許含む合計で記載。

注2：造林の保育は、下刈・つる切・除伐の合計である。

署の沿革

- 明治23年 北海道官有林を御料林に編入。宮内省御料局札幌支庁札幌出張所設置
- 明治41年 北海道庁官制改正に伴い札幌営林区署が設置され小樽分署が置かれる
- 昭和22年 林政統一により、内務省所管国有林と、御料林が国有林に併合され、札幌営林署、定山溪営林署、余市営林署、恵庭営林署が設置
- 昭和63年 定山溪営林署を札幌営林署に統合
- 平成11年 組織の再編により石狩森林管理署となる（名称の変更）
- 平成13年 余市事務所（旧余市営林署）・恵庭事務所（旧恵庭営林署）が廃止され石狩森林管理署に統合
支笏森林事務所が管轄区域の整序により石狩森林管理署へ編入
- 平成16年 浜益・昆砂別森林事務所が管轄区域の整序により石狩森林管理署へ編入
- 平成30年 石狩森林管理署庁舎を北海道森林管理局庁舎（1階）へ移転

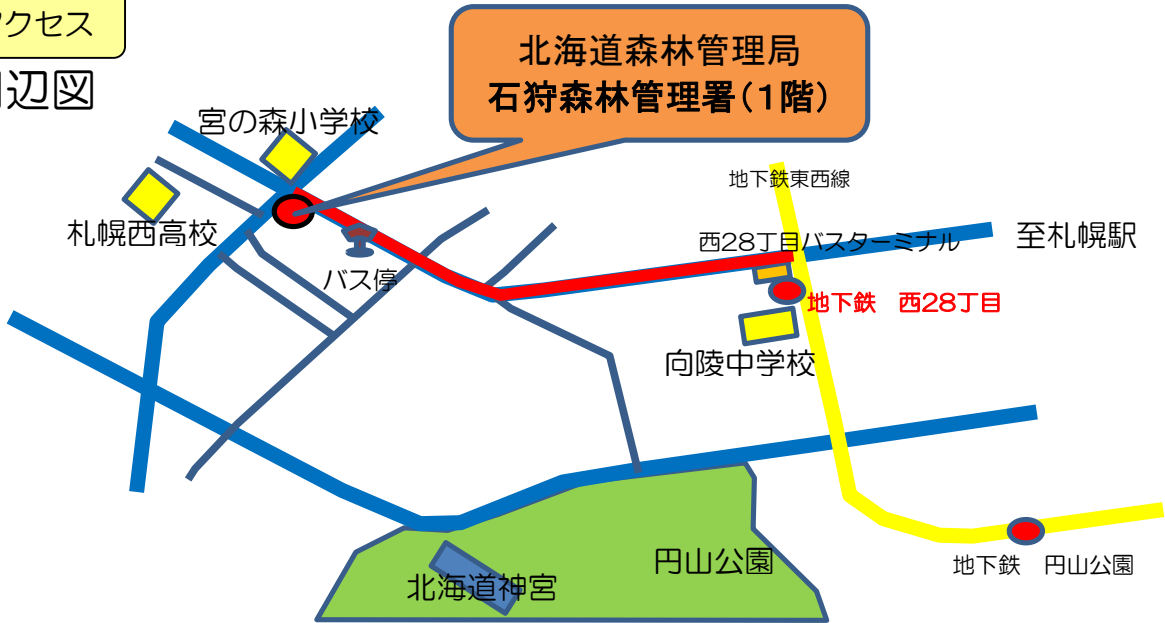
組織図



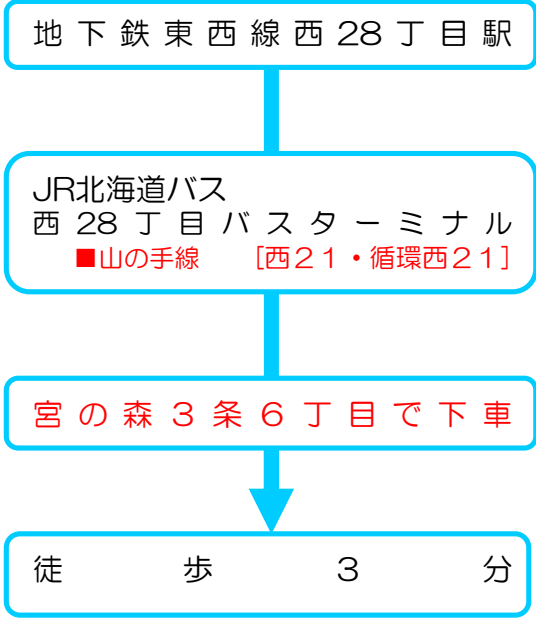
森林事務所の管轄区域

厚田森林事務所	石狩市厚田区、当別町、新篠津村の国有林を担当
野幌森林事務所	札幌市、石狩市、江別市、北広島市の国有林を担当
定山溪森林事務所	札幌市南区の国有林を担当
小樽内森林事務所	札幌市南区の国有林を担当
簾舞森林事務所	札幌市南区の国有林を担当
余市森林事務所	余市町、小樽市の国有林を担当
銀山森林事務所	仁木町、赤井川村の国有林を担当
赤井川森林事務所	赤井川村の国有林を担当
積丹森林事務所	積丹町、古平町の国有林を担当
恵庭森林事務所	恵庭市の国有林を担当
千歳森林事務所	千歳市・恵庭市の国有林を担当
支笏森林事務所	千歳市の国有林を担当
浜益森林事務所	石狩市浜益区・厚田区の国有林を担当

アクセス
周辺図



公共交通機関をご利用の場合



お問い合わせは、『緑づくりの支援窓口』へ

開かれた窓口として設置されたもので、国民の皆様が森林・林業の役割について、気楽に相談できるように以下の項目について積極的に相談に応じ、説明、案内、指導等を行っています。

- ① 森林レクリエーション、記念植樹、体験林業に関すること
- ② 分収造林、分収育林等国有林野の利活用に関すること
- ③ 林産物に関すること
- ④ その他森林、林業、木材に関すること

石狩森林管理署



国民の森林・国有

〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番
TEL 011-622-5111
I P 050-3160-5710
E-mail h_ishikari@maff.go.jp